

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



私的マックス最上級の笑顔で 祖父母ふれあいデー考

おじいちゃん、おばあちゃんたちをお招きしての楽しいひととき、「祖父母ふれあいデー」はいかがでしたでしょうか？もしかし、県外からお仕事の方を呼んで下さった方も多かったのではないかと思います。みなさん本当に有り難うございました。心より感謝申し上げます。

さて、今回、年少さんの中に、どうして都合がつかず、おじいちゃんもおばあちゃんも参加できなかつた子がいました。しかし、その子はいつもと変わらぬ様子で、進んで活動に取りかかっています。私と目が合うと、こっと笑って小さく手を振りました。私は、一人で頑張っている姿が、いじらしく、



一人で頑張っている姿が、いじらしく、私と目が合うと、こっと笑って小さく手を振りました。私は、一人で頑張っている姿が、いじらしく、

関わってくださる方がいいのです。これからは、生き方も、家族のあり方も一層多様になっていくでしょう。大人も子どもも、他人と比べて不幸を測るのではなく、自分の中に「幸せの物差し」をもって、置かれた環境の中で、一杯ポジティブに生きていく力が必要です。「かわいそうだから」「ふびんだから」と大人が庇いすぎたり、自分の中で折り合いをつけたり、逆に自ら解決しようとする能力は育たないのでは、ないでしょうか。そんなことまで考えが及んだ出来事でした。それにして、小遣いからお子さんはいるものですね。



好きな遊びは大人近づいても・・・の巻

●「好きな遊び」の時間は、子どもの発達の段階がとてもよくわかります。大人が近づいてきた時の反応も、年齢それぞれです！



【年少さんの場合】

自分のしたいことをしているだけなので、大人が存在はあまり気にしません。やりたいことを思い思いにやっている感じです。たまたま側にいれば「見て！」と来てくれます。



【年中さんの場合】

「ワールド」を共有できる何人が集まって、その世界に浸りきって遊びます。大人が近づくと直ぐに「ワールド」に引きずり込まれます！田中副学部長先生も、あっという間に敵役に見立てられることも！



【年長さんの場合】

自分たちのしたいことや表したいことがあって、数人で協力して遊びます。かなり出来映えを意識しますので、大人が来ると、よく「観客」になることを要求されます。時間に十分余裕がある時に、お勧めです。

朝はジャックと豆の木の下で

毎朝8時28分頃、登園の出迎えと交通指導を兼ねて、横断歩道に向かいます。玄関を出ると、少し早めに到着した子が、8時半になるのを今か今かと待っています。かけっこ宜しく横一列に並んで「よーい！」の姿勢で構えている姿を見ると、毎日元気をもらいます。『そんなに幼稚園が楽しみなんだな』と嬉しくなります。

朝はお弁当作りなどで忙しいこととは思いますが、家族が起きて動き出す時間を10分早めれば、10分早く到着する計算になりますよね。少し、余裕をもって登園してみませんか？8時半に間に合わずとも良いのですが、子どもを朝から急かせて、テンションを落として登園するのは実に勿体ないことです。気持ちよく遊びや活動に入ると、1日の「成長」にきつと差が出ます。（勿論、事情があるときや調子の悪い時は別ですよ！）

朝の節目の時刻は、紙皿時計を作ると見るところに掲示しておくのも効果的です。時間の感覚は幼児期から育てておくべき大切な力の一つですから、年長さんの秋頃までには、朝の行動が少しずつ「自立」できると良いですね。

